

音楽	課題分析 (学力調査結果、定期考査、授業の実態等)	授業改善策	新学習指導要領に向けて (移行措置対応を含む)
1年	<p>【変声期の発声】 ○男子生徒は発達段階に個人差もあるため、一斉指導による歌唱指導だけでは、うまく声を出せない生徒が出てしまう。</p> <p>【音楽を形づくる要素の理解】 ○小学校での学習理解度にはリズムや発声における個人差が大きい。</p> <p>【様々な音楽に対する関心】 ○日々の生活に馴染みのない音楽には関心が低くなりやすく、主体的に音楽の良さを味わおうという意識が低下しやすい。</p>	<p>【変声期の発声】 ○男子生徒には、あまり声量を意識させず、声帯を柔らかくする発声指導を徹底し、モチベーションを維持するように心がける。</p> <p>【音楽を形づくる要素の理解】 ○小学校での学習内容の復習も取り入れ、スモールステップで音楽的要素の理解と、それを活用した音楽表現を実践していく。</p> <p>【様々な音楽に対する関心】 ○日々の生活でも触れやすい音、音楽を授業に取り入れ、それと関連付けた学習を行うことで、身の回りの音、音楽への関心を高めさせる。</p>	<p>【主体的な学び】 ○音楽表現の学習において、生徒にリーダーの役割などを与え、グループワークを中心に進めていくことで主体性を育む。</p> <p>【協働的な学び】 ○生徒それぞれがもつ感性を表現し、伝え合う活動を中心に授業を展開していくことで、主体性と協働性を互いに関連付けて育成していく。</p>
2年	<p>【行事における音楽的活動に対する関心】 ○儀式行事や学校行事における音楽的活動を主体的に取り組もうとする意識が低い。</p> <p>【様々な音楽に対する関心】 ○日々の生活に馴染みのない音楽には関心が低くなりやすく、主体的に音楽の良さを味わおうという意識が低下しやすい。</p> <p>【音楽から受け取ったイメージの言語化】 ○学習において、自分が感じ取ったイメージを言語化したり、鑑賞活動の批評文を書いたりする能力を育てる必要がある。</p>	<p>【行事における音楽的活動に対する関心】 ○日々の学習内容で、校歌を定着させ、愛校心を育む内容を取り入れていく。</p> <p>【様々な音楽に対する関心】 ○日々の生活でも触れやすい音、音楽を授業に取り入れ、それと関連付けた学習を行うことで、身の回りの音、音楽への関心を高めさせる。</p> <p>【音楽から受け取ったイメージの言語化】 ○イメージを言語化し、それを伝え合う授業を実践することで、主体的な学び、協働的な学びに結び付けていく。</p>	<p>【主体的な学び】 ○音楽表現の学習において、生徒にリーダーの役割などを与え、グループワークを中心に進めていくことで主体性を育む。</p> <p>【協働的な学び】 ○生徒それぞれがもつ感性を表現し、伝え合う活動を中心に授業を展開していくことで、主体性と協働性を互いに関連付けて育成していく。</p>
3年	<p>【行事における音楽的活動に対する関心】 ○儀式行事や学校行事における音楽的活動を主体的に取り組もうとする意識が低い。</p> <p>【様々な音楽に対する関心】 ○日々の生活に馴染みのない音楽には関心が低くなりやすく、主体的に音楽の良さを味わおうという意識が低下しやすい。</p> <p>【音楽から受け取ったイメージの言語化】 ○学習において、自分が感じ取ったイメージを言語化したり、鑑賞活動の批評文を書いたりする能力を育てる必要がある。</p>	<p>【行事における音楽的活動に対する関心】 ○儀式行事や学校行事における音楽的活動を主体的に取り組もうとする意識が低い。</p> <p>【様々な音楽に対する関心】 ○日々の生活でも触れやすい音、音楽を授業に取り入れ、それと関連付けた学習を行うことで、身の回りの音、音楽への関心を高めさせる。</p> <p>【音楽から受け取ったイメージの言語化】 ○自分が感じ取ったイメージや、鑑賞活動の批評文を伝え合う活動を実践することで、協働的な学びに結び付け、個々の言語化する能力を育む。</p>	<p>【主体的な学び】 ○音楽表現の学習において、生徒にリーダーの役割などを与え、グループワークを中心に進めていくことで主体性を育む。</p> <p>【協働的な学び】 ○生徒それぞれがもつ感性を表現し、伝え合う活動を中心に授業を展開していくことで、主体性と協働性を互いに関連付けて育成していく。</p> <p>【深い学び】 ○鑑賞活動における批評文からは、音楽に込められたメッセージや歴史的背景など、様々な学びの可能性がある。作曲者の意図や歴史を教わるのではなく、音楽を鑑賞することで自ら気付くことで、主体的で深い学びにつながるように授業を展開する。</p>